

SGH
国際科学館
アソシエイト
認定校

Program for Active Arts and Languages

大妻中野 PAAL News 第3号 2015.10.17

Otsumanakano Junior & Senior High School

～ 世界を1つのコミュニティに ～

Oct.11 Because I am a girl. (国際ガールズデーに寄せて)

Oct.12 International Day of the Girl Child



国際ガールズデーに関連して、インドからゲストを招き、本校にてプレゼンテーションを行い、本校生徒と交流してもらったイベントを開きました。彼女はプリヤンカさん(18歳)です。

このポスターを貼ったとき、後ろで眺めていた妻中生が思わず声を上げました。
「13歳で結婚? 14歳で出産? え? 恋は、まだ知らないってどういうこと?」
恋愛があって、その先に結婚があって...というイメージはあくまでも、ほんの一部の女の子だけのもの。
世界には、自分達の日常からまったく想像も出来ないような毎日を送っている「女の子」が大勢いるのです。

この夏、大妻中野の中学生は、マハラ・ユスフザイさんや、発展途上国に暮らす女の子に関する書籍を読み、読書感想文を書きました。そのご縁から、10/11の国際ガールズデーイベントのためにインドから来日したプリヤンカさんをお招き出来ることになり、本番より1日早い、大妻中野ガールズデーが実現したのです。

「女の子だから」という理由だけで、学ぶ権利や未来の可能性を奪われてしまう同世代の女の子たち。自ら学ぶことを望み、働きながら勉学にも励む18歳のプリヤンカさんのお話を、集まった妻中生たちは食い入るように聴いています。本やテレビ、インターネットで何となく見聞きし、知ったような気持ちになっていた遠い国の現実。今、こうして目の前で語られて初めてそれが心に突き刺さる...。プレゼンテーション後の質疑応答コーナーでは、中学生高校生を問わず、活発に質問の手が上がりました。



世界中の、すべての女の子が幸せであるために、「Because I am a girl.」の前に来るフレーズを、絶対にネガティブなものにしないために、「わたし」に出来ること、「わたしたち」に出来ることを少しずつ見つけたい、見つけなければ! 心の中に小さなタネが根付き、見る間に根を張る情景が目に見えるような気がした、大妻中野ガールズデーでした。

Sept.19 本校提携大学東京芸術大学副学長松下功先生による講演会と芸大生によるミニコンサート

哲学者ニーチェは次のような言葉をのこしています。
「芸術こそ至上である。それは生きることを可能ならしめる偉大なものである」

人が生きるために、水や食料、燃料や衣類はもちろん必要です。しかし、「人間らしく」生きることを考えたとき、歌や絵画、造形といったArts(アーツ)が及ぼす力は想像以上に大きいのではないのでしょうか。本日は特別なゲストをお招きし芸術の素晴らしさを実感するセミナーを開催しました。東京芸術大学副学長、松下功先生が軽妙な語り口でグローバル社会におけるArts(アーツ)の役割について語って下さったあとは、現役の東京芸術大学生によるミニコンサート。そして、生の芸術、アール・ブリュットの発信地として知られる中野区のアート会館から参加して下さったみなさんと一緒にキャンドルArts(アーツ)のワークショップを行いました。Arts(アーツ)は心を豊かにし、人と人とをやさしくつなげます。人が手を取り合い、分かり合うために、Arts(アーツ)は不可欠だと実感させられたイベントでした。



Sept. 27 本校文化祭イベント「早稲田大学留学生との交流セッション」

文化祭の2日目、晴れた日の朝、早稲田大学の留学生たちが本校を訪れました。まず、本校の在校生が文化祭の催しを案内し、その後カフェテリア「アゴラ」でトークセッションを行いました。これは、世界各地より来日している留学生に日本の文化(特に学校文化)を紹介するとともに、本校の在校生と貴学の留学生が交流することにより相互理解が深まることを目的にしたものです。彼らのほとんどは9月に来日したばかりの新入生で、自国では見たことのない珍しい展示や舞台に目を見はっていました。トークセッションでは、日本語、英語の他に、韓国語、中国語が飛び交いました。「日本に来て驚いたことは何?」「あなたの国にも女子校ってあるの?」「将来は何になる?」これからの世界を担う10代の若者たちが、お互いをリスペクトし理解しようとする意義深い時間となりました。



Oct.4 「本当」を疑う視点(国際協力を考えるワークショップ)

10月最初の土曜日は、大阪商業大学の西岡尚也先生をお迎えし、本当の意味での「国際協力」や「援助」について考えました。西岡先生は開発教育の専門家でもあり、ご自身もミャンマーやベトナムで実践活動をしていらしゃいます。お話は、まず「地理」とは「歴史」とは何か、考えるところから始まりました。地理も歴史も扱う題材こそ違いますが、地理であれば大地の現象の一部を、歴史であれば長い年月の中で営まれてきた人類の生活のほんの一部を切り取ったものに過ぎません。だからこそ、これまで起こってきたこと、今起こっていることが本当なのかを疑って、大きな視点で見ることが大事であると。critical thinkingは平和の実現にもつながる、と強く感じさせられる西岡先生のお話。今日、このお話を聴けたことで、国際協力や援助を考える際の「目線」の大事さにも生徒たちは気づいてくれたことでしょう。私たちには、リーダーシップを磨き、先頭に立って物事を推し進めていく「パワー」も必要ですが、同時に「上」からではなく、様々な境遇・立場の人々と同じ目線になって物事を考えたり行動したりできる力も求められているのです。「世界」を前に、どうあるべきか。未来へ向かう行動の指針をはっきりと示してもらえた密度の濃い90分でした。



SGH 関連 2015年2学期の取り組み

News& Topics (各記事の詳細は、本校HPをご覧ください)

- 2015-09-09 本校アドバイザー 福原正大氏を迎えてSGH講演会
- 2015-09-19 本校提携大学東京芸術大学副学長松下功先生による講演会と芸大生によるミニコンサート
- 2015-09-27 本校文化祭イベント「早稲田大学留学生との交流セッション」
- 2015-10-03 講演会大阪商業大学西岡教授による国際協力・援助についてのワークショップ
- 2015-10-06 本校アドバイザー 大妻女子大学 服部教授によるLogical Writing Class実施

Coming soon!

- 2015-10-23 シンガポール World Creative Education 戸田氏による海外大学進学についての講演会
 - 2015-11-07 ケニアからお客様を迎えて「ケニア壁画プロジェクト」
 - 2015-11-19 ~ 23 "Frontier Team" タイ チェンマイ フィールドワーク
 - 2016-01-23 SGH報告会(2015年度本校SGHプログラム取り組みの発表)
- "Global" still goes on!!**